

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月13日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 274-8502

住 所 千葉県船橋市習志野4丁目16番12号

法人名 朋和産業株式会社

代表者 工藤 克彦

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-456-5011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	朋和産業株式会社 干潟工場		
事業場の所在地	千葉県旭市さくら台1番4号		
計画期間	令和7年4月1日	から	令和8年3月31日

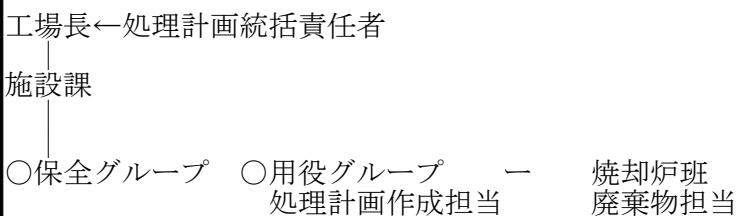
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類： 製造業 中分類： 印刷・同関連業
②事業の規模	290億円
③従業員数	615人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類→破碎→固形燃料化 廃プラスチック類→焼却(熱回収)→焼却灰を再生利用 木くず→破碎→発電燃料 廃アルカリ→焼却

(日本産業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 木くず
	排出量	6187.9 t 62.2 t
(これまでに実施した取組)		
製造工程ごとに毎日排出量を測定し、月の排出結果を社内掲示し、社員全員の意識向上を図っている		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 木くず
	排出量	6500 t 50 t
(今後実施する予定の取組)		
製造工程の歩留まり率を向上させ、廃棄物の排出量削減を図る。新規有償物引き取り業者開拓。有償物引き取り量を増やし排出制御を図る		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：廃棄処理と有償物のケージ分けて設置し分別を行いさらに自己処理可能物の分別を行っている。
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類；廃棄処理物から新たに有償物へ転換できるよう分別をさらに強化する
②計画	

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	3075.8 t	t
①現状	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2791.5 t	t
(これまでに実施した取組)			
焼却炉の運転管理により処理能力の維持に努めた			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	3100 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2800 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	処理能力維持を継続、運転時間の見直しをし自己処理量の増量を図る		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
①現状	全処理委託量	3396.4 t	62.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3396.4 t	62.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 処理施設の現場確認を行い適正処理の確認をしている			

## (第5面)

【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	3700 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3700 t	50 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 処理業者の適正処理確認の維持に努める			
※事務処理欄			

## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
	排出量	116.0 t			
	(これまでに実施した取組) 廃油抜出手法を変更し、削減を実施する。				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
	排出量	100.0 t			
	(今後実施する予定の取組) 現状維持に努める。				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
① 現状	産業廃棄物の種類	廃アルカリ		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t		
【目標】				
② 計画	産業廃棄物の種類	廃アルカリ		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t		
(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量
	廃アルカリ 0.0 t
	自ら中間処理により減量し た産業廃棄物の量
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う産業廃棄 物の量
	廃アルカリ 0.0 t
	自ら中間処理により減量す る産業廃棄物の量
(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.0 t			
	(これまでに実施した取組)				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0 t			
	(今後実施する予定の取組)				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
	全処理委託量	116.0 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	—	—	—
	再生利用業者への 処理委託量	116.0 t			
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	—	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t			
(これまでに実施した取組) 適正処理の確認。					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
	全処理委託量	100.0 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.0 t			
	再生利用業者への 処理委託量	100.0 t			
	認定熱回収業者への処 理委託量	0.0 t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t			
(今後実施する予定の取組) 現状維持に努める。					